

廣忠君御代

河原

高百五拾俵

源姓

家紋

丸之内一ツ
上羽蝶 劔酸漿

從二位左大臣融嫡孫從五位下河原
藏人頭遍廿三代之後胤備後国福
山城主遠江守満国之男

満綱

四郎三郎

廣忠君奉仕

三州苜屋渡り村郷士にて

満清

九左衛門

父と共ニ

廣忠君へ召出され奉仕

満久

民部

東照宮へ奉仕七拾騎与力相勤所々御陣
供奉老年ニ成弟河原傳兵衛満行
名代相勤右満行死後満久再勤シ
奉仕其後死

満吉

金右衛門

七十騎与力
此家筋當時火消与力河原甚五兵衛信順
之祖

満正

七左衛門

兄金左衛門満吉関東 御入国以後本多
佐渡守組ニて七拾騎与力相勤其後に
金御殿番相勤候節
大猷院殿御代御徒へ召出され○其後御徒
組頭
嚴有院殿御代御広敷添番○寛文十二
年六月五日死八拾五歳本所番場
泉龍寺へ葬る

以下略